

慶和園



第12回 慶和園実践報告会 ・ 大いに語り、掘り下げる。

施設内クラスターにより延期となっていた「慶和園実践報告会」ですが、この度1月30日に開催することができました。

今年のメインは、グループ討議。4ユニットからの事例発表により投げかけられた、「スタッフの想いや迷い」「ご利用者にとってどうだったのか」について、各ユニットに分かれて意見交換を展開。普段なかなかひとつの事例をじっくり話す機会が無かったこともあり、各テーブルではそれぞれスタッフが意見を重ね、ご利用者への想いを確認することができました。

当日の様子は、慶和園Instagramでも紹介していきます！



—ご利用者に訊く— 私の歩みかた

慶和園での生活が始まって2年ほどの武田常男様（73歳）は園で1、2を争う元気の持ち主。札幌にお住まいの頃はよく散歩に出かけていたとの事。本園へ入所後も散歩を続けたいとの想いがあり職員と共に試行錯誤。夏場は、お一人で30分～1時間ほど散歩に出られています。また何事にも積極的に参加される武田さん、夏は“畑クラブ”で野菜栽培に汗を流し、冬には寒さをもろともせず雪かきボランティアで雪と格闘されています。「とにかく体を動かすことが大好き」という武田さんは「何でもやるよ！」と次の新たなチャレンジを模索中のようです。



ようてい・ふきだしユニット 新年会

ようてい、ふきだしユニットでは1月16日に合同で新年会を行ないました。ご利用者、職員共に可能な限り参加をして頂き、総勢30名ほどでお鍋、たこ焼き、枝豆を食べました。なかなか職員とご利用者が勢ぞろいする機会が少ないので和気あいあい、賑やかで楽しい時間を過ごす事が出来たと思います。食後のデザートでは、フェン職員、ヴィ職員によるベトナムのおやつ『チャー』の提供。ココナッツとトウモロコシが入っていて甘くてトロミのついたスープのような？新食感のおやつとても美味しかったです！お鍋も気に入って頂けたようでおかわりされるご利用も多く嬉しい気持ちの半面とてもびっくり、心配にもなりましたが・・・。何よりご利用者の皆さんが美味しそうに、楽しそうにしてくれている様子が見られてとても嬉しかったです。



『慶和園だより』NO.265 令和5年2月10日発行

〒044-0132 虻田郡京極町字更進 780 番地 1

TEL (0136) 42-2201 FAX (0136) 42-2209

編集発行：老人福祉施設 慶和園 広報委員会

発行責任者：施設長 澁谷 剛

※「慶和園」だよりに掲載の個人情報は、ご本人もしくは、ご家族様の許可を得て使用させて頂いております。

◎今月の羊蹄山：今は亡きご利用者の作品「羊蹄山」。10年度ほど前に描かれたもので、作品を通じて当時の思い出も甦ります

—慶和園運営方針—

- ・慶和園はひとつ。ご利用者・職員で慶(喜)びの和を大切にします。
—私たちは、チームでご利用者の想いを実現させます—
- ・慶和園は一人ひとりを大切にします。
—私たちは、自分以外の全ての人に真心をもって親切丁寧に接します。
- ・慶和園は地域とのつながりを大切にします。
—私たちは、地域における役割りを理解し信頼を得られる行動をとります。



慶和園「わたしたちの深化・進化」
～各ユニット・取組の進捗状況のご報告～

養護ユニット
ご利用者と職員と一緒に考える深化・進化

2022年度の慶和園運営テーマは、「ご利用者のために深化宣言！」
～私たちも進化しよう！！～
今年度も残り2カ月、各セクションにおける「しんか」の取組の進捗状況についてご報告させていただきます。今月は「養護ユニット」からの報告です。

養護部門の進化と深化について、今年度は2月13日に行う予定の運動会の他、年間を通じて外出企画や野外食、喫茶、新年会などご利用者と職員が一緒になって楽しめる内容を考え実施してきました。そこにはご利用者と職員の笑顔がたくさん生まれました。また、ユニット会議の中では支援計画の見直しを計画的に行い、ご利用者の望む事、その方らしい生活を送って頂く為の話し合いを重ねています。普段からのご利用者との関りを大切にす意識と姿勢、そこから築かれる信頼関係を何より大切にす事。それは次年度においても必要不可欠なものと考え、今後も私たちは進化と深化をしていきたいと思ひます。



多文化共生 **カンボジア**
慶和園のD&I
多様な価値観・働き方を紹介
ロン・ソピアさん



カンボジアから特定技能就労として日本にやってきたソピアさんですが、日本に来て驚いたことは雪の多さだそうです。カンボジアでは雪は降らないためにこんなに降るなんて知らなかったと驚かされていました。さらにカンボジアでは生卵を食べる習慣がないのですが、日本人は好んで食べることに大変驚いたそうです。日本との文化の違いについてたずねるとカンボジアでは日本と違い「いただきます」や「ごちそうさま」を言う習慣はなく、「美味しい、ありがとう」とたまに言うくらいだそうです。また、日本では1月1日が正月ですが、カンボジアでは1月1日と4月14日～16日が正月で1年に2回正月があるそうです。聞けば聞くほど日本とは違うことだらけ。話をしているととても興味深く、面白かったです。(広報委員:分銅恵次)

ヴィさんが地域の一員として
「京極町成人記念式典」に参加！

1月8日、技能実習生としてベトナムから来園のグエン ティ トウ オン ヴィさん(ベトナム・20歳・愛称: ヴィちゃん)が京極町の「成人記念式典」に出席しました。当日は、慶和園職員より貸与の振り袖を身にまとい、少々緊張気味。ご厚意で着付けをいただいた吉川みゆき様に温かい声をかけていただき自然と笑顔になりました。式典では、町内の参加者28名と門出を共にし、交流も図りました。式典終了後、お話を伺うと「緊張したけど同世代の方と交流ができてとても楽しかった。ご利用者さんからも祝っていただくなど、周囲の皆さんから声をかけてもらえたことが、一番嬉しかった。」とのこと。この度は、地域の皆様のお陰で、良い体験ができました。ご協力に感謝いたします。



【ご厚志に感謝いたします。】

- 1月1日～31日分 << 順不同・敬称略 >>
【寄付金】 麻生祐一(豊浦町)
【寄付品】 大木容子(京極町)-松浦信一(同)-菅原志津子(同)-四宮孝一(同)-北海道施設管理(同)-佐藤元子(俱知安町)-青木英一(同)-坂本晴美(同)-大木庸央(札幌市)-小川原清美(同)-木谷潤一(真狩村)-加藤喜代志(滝川市) 以上

【2023年2月10日～3月の行事予定】

【2月】	【3月】
13日 冬季運動会(養護)	12日 出張理容(菅原理髪店)
13日 出張理容(サロンドシエル)	13日 出張理容(サロンドシエル)
20日 出張理容(竹山美容室)	21日 ご家族との懇親会
21日 ご利用者懇談会(養護)	27日 出張理容(竹山美容室)

～ 相手の心を想う ～ 係長が考えたこと

皆さんは傾聴という言葉を知っていますか？僕は相手と対話する時に傾聴出来ているか常に疑問を持ちながらコミュニケーションをとっています。相手の「耳」「目」「心」に傾けて真摯な姿勢で相手の話を聴いているか…。傾聴という言葉は相手と信頼関係を築くだけでなく、傾聴を通して自分自身を知り、感情をコントロールさせる精神的成長を促すきっかけでもあります。話し方や表情、姿勢、しぐさ等言葉以外にも注意を払いながら今後皆さんとコミュニケーションを深めていきたいです。

係長 宇治 伸耶